

# トヨ子&としやの 市政報告

2017年  
9月号  
第25号

発行者：日本共産党大垣市議団  
発行日：2017年8月1日  
連絡先：大垣市室本町5-8  
Tel 78-6865 Fax 73-8572



菅田トヨ子 建設環境委副委員長  
子育て日本一対策委  
Eメール sanbal@sasada-toyoko.jp  
中田としや 議会運営委  
経済産業委  
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com



## 9月議会の日程・議案決まる

8月28日の議会運営委員会において、9月議会の日程・議案が提案されました。日程については別表の通り。主な議案についてご紹介します。

### 28年度決算は 5億6000万円の黒字

#### ・【28年度決算】

28年度決算案の内訳をみると、1億9000万円の一般会計の赤字分があるが、国民健康保険事業会計が3億9900万円の黒字など特別会計が7億5000万円の黒字になっており、5億6000万円の黒字になっています。

### 要保護児童などの 入学準備金援助へ

#### ・【補正予算】

### 要保護及び準要保護児童生徒援助費990万円

かねてから要望していた新入学児童分の入学準備金を援助する補正予算が上程されています。来年4月の入学児童から適用されることになっています。

### 西外側町に 来庁者用駐車場を取得

#### ・【財産取得】

### 新庁舎建設中の来庁者駐車場不足 対応用立体駐車場4億7800万円

新駐車場完成後は公用車駐車場として活用予定です。

#### ・【請負契約締結】

### 三城幼保園建設工事 5億4000万

## 9月議会日程

- 4(月) 本会議 議案提案
- 11(月) 一般質問
- 13(水) 決算委員会
- 14(木) 市民病院特別委  
子育て支援日本一対策委
- 15(金) 建設環境委  
経済産業委
- 19(火) 文教厚生委  
企画総務委
- 20(水) 本会議 採決

## 土地の売却

#### ・【財産処分】

大垣市開発町の和合団地北側空き地売却 1億1150万

## トヨ子&としやの8月活動日誌

### 菅田トヨ子

#### 【8月】

- 1日 総合計画審議会  
社会福祉法人理事会
- 3日 地区センター運営委員会
- 15日 戦没戦災死者追悼式
- 17日 国保県単位化説明会
- 18日 社会保障推進協議会
- 21日 総合計画審議会
- 22日 綱領セミナー
- 23日 議員団会議  
県障害福祉課相談
- 24日 発達相談
- 27日 防災訓練
- 29日 予算要望県交渉
- 31日 社会福祉法人理事会

### 中田としや

#### 【8月】

- 3日~4日 経済産業委員会競輪場視察
- 5日 映画「スノーデン」  
水都祭り
- 8日 生活保護申請同行
- 9日 側溝蓋設置要望
- 15日 街頭設置要望現地視察
- 20日 ポスティング
- 22日 綱領セミナー
- 27日 花咲かせプロジェクト
- 29日 県予算要望  
養老鉄道再生協議会
- 30日 県庁舎建設説明会

8月27日、西中学校で大垣市総合防災訓練が行われました。

南海トラフ大地震を想定し、最後はレスキュー隊や災害救助犬が出動して、倒壊建物内の住民の救出まで行われました。



## 養老鉄道に乗って桑名に行こう!

旅も、自分で計画して行くのはわずらわしいもの後機会企画の日帰り旅をゆったりくつろいで楽しみませんか

日時…2017年10月15日(日) 8時45分大垣駅集合  
会費…2000円(交通費・六華苑入場料を含む)  
行程…大垣発の養老鉄道に乗って桑名へ。ボランティアガイドの案内で徒歩で六華苑へ。七里の渡しや九華公園めぐり。昼食は市内食べ歩き(実費負担を)  
鉄道車内…一両貸し切りなので、うたごえ・ゲームで楽しめます。

申込先…共産党地区委員会(0584-78-6865) 申込〆切9月30日

中田市議

経済産業委員会  
川崎・横浜の  
競輪場・場外車券売場視察

大垣競輪、今は黒字だが...

8月、経済産業委員会として、川崎競輪場のナイター競輪、サテライト横浜の場外車券売場を訪れ、入場者増策について視察しました。昨年の大垣競輪場は、黒字であり、8,000万円を繰り出し市財政に寄与しました。

しかしそれでも日本共産党は、今年度予算において、「公営ギャンブルをすべきではない」と考え、競輪事業予算に反対しました。

今後、競輪場の入場者は減少が見込まれる中、市は赤字化する前に将来的な見通しを持つべき、ま

た競輪それ自体が健全なスポーツとして発展していくよう検討すべきだと考えます。

共産党、カジノ法案に反対

国政の公営ギャンブルと言え、9月の臨時国会ではカジノ解禁実施法案が審議される予定です。

首相は「経済成長」を口実にカジノ推進ですが、経済対策に力を入れるべき部分は、公営ギャンブルではなく、くらしを温める経済政策ではないでしょうか。

予算収入の増加を期待してカジノ誘致に乗り出す自治体

もありますが、一攫千金をねらうギャンブルからは生産的な何物も生み出しません。周辺地域の風紀が乱れる恐れもあり、取りつかれた人々の深刻なギャンブル依存症も憂慮されます。

愛知県でも中部空港のある常滑市の空港島にカジノを含む統合型リゾート施設の計画が浮かび上がり、大村知事も前のめりの発言をしていますが、政府の公聴会でも、参加者のとまどいや不安の声が上がっています。



日本で世界で数億の規模で  
「ヒバクシャ国際署名」を  
「核兵器禁止条約」にサインする国を世界に広げる力

7月7日に国連会議で、「核兵器禁止条約」が採択されましたが、日本の被爆者はもとより世界中で、この人類史上初めて核兵器を違法化する条約を歓迎する声が上がっています。

核保有国である米ロ英仏も加盟する欧州安保協力機構(OSCE)の議員で構成するOSCE議員会議のクリスティーネ・ムットネン議長(オーストラリア)は、年次総会で演説し、各国政府が速やかに署名するよう訴えています。

核の傘にしがみつくと日本政府  
条約参加こそ北朝鮮解決の道

国連会議の冒頭「交渉に参加しない」と言い捨てて退出した日本政府は、その後も安倍首相が広島で長崎で「核保有国と非核各国との橋渡し役を務める」と言っていますが、核の傘にしがみつきの発言は通用するものではありません。

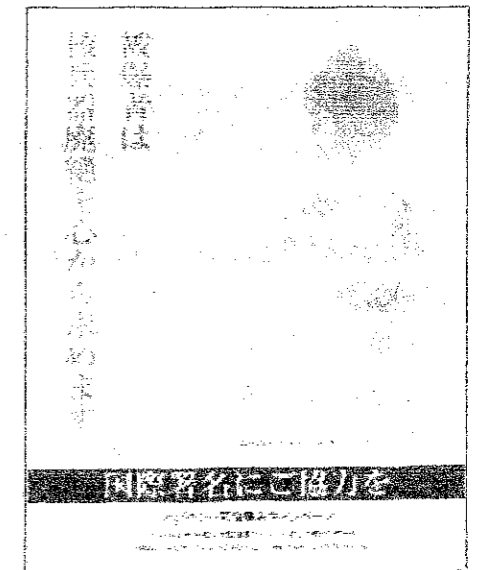
北朝鮮の核実験や相次ぐミサイル発射は許されるものではありませんが、これに厳しく抗議するとともに、日本がアメリカの核の傘から抜け出してこそ、北朝鮮への説得力のある働きかけができるでしょう。

「平和の波」(9月20~26日)  
ヒバクシャ国際署名の訴えを

先の原水爆禁止2017年世界大会で日本を起点に世界を回る「平和の波(ピースウェイブ)」が提起されました。期間は、おりしも核兵器禁止条約への各国政府による調印が始まる9月20日から国連核兵器廃絶デーの26日まで。

日本では中央行動の「おりづるアクション」があり、大垣でも24日午前11時から大垣駅前「平和の波」を取り組めます。

この機会に、「ヒバクシャ国際署名」をいっそう広く呼びかけて、世界に響く大きな波に込めましょう。



中田市議

総合計画審議会第3部会  
待機児童解消めざす  
目標を掲げる

大垣市総合計画審議会は、第1期基本計画(H30~H34)を策定するため、3つの部会に分けて審議されました。

私は子育て支援や教育の「人づくり」と「市民協働」「行政経営」の分野に参加しました。

子育て支援のめざす姿は「安心

して子どもを生み、楽しく子育てできるまち」ですが、「現状と課題」の中には、昨年議会で大きな問題になった「育休退園」や「隠れ待機児童について一言も触れられていないので、保育要求について課題として是非位置付けて欲しいと提案しました。

結果として、「3歳未満児など高まる保育ニーズに対応するため、保育士の確保や保育施設の整備などにより、園児の受け入れ態勢の充実を図る必要がある」と盛り込まれました。そして「目標指標」として未就学児の保育所等利用率をH28年度の基準値：61%を、目標値：68%(H34)としました。

この目標値は3歳未満児の受け入れを大幅にふやす内容です。